

かみくげ 恐竜の里新聞

平成27年6月20日

発行 上久下恐竜の里づくり部会

第75号

上久下地域
自治協議会
0795 78 0001

自治協議会総会開かれる

上久下地域自治協議会 利上茂会長は、5月10日に地域づくりセンターで平成27年度総会を開きました。総会には自治会・部落代表と各団体の代表ら27名が参加。丹波市から中村直樹支所長、畑田久祐まちづくり指導員も参加され、26年度の取り組みや決算状況の報告、続いて27年度の事業計画及び予算案について提案し、議案とおり可決されました。

◆26年度の事業報告 (抜粋)

- ・地域づくりセンター調理室の全面改修完了。
- ・元気村に農業の6次産業化を目指した農産物処理加工施設の建設完成。
- ・以上の事業は、丹波市元気な地域づくり特別事業と地域再生拠点等プロジェクト支援事業の補助金を充当。
- ・地域づくりセンターの土地所有権移転登記。
- ・地域住民の繋がりを強めることを目的に、映画会、恐竜時計台のカフェ、納涼ビアガーデンなどを定期的に開催。ふるさと振興会主催で「未来を語る会」がスタート。
- ・丹波竜に新属 新種の学名が決定し、



公開試掘調査の年2回実施や「恐竜広場」の完成で地域の活性化を図っていること。

◆27年度の事業計画 (抜粋)

- ・丹波竜の里計画の総仕上げとして、広田つり橋完成や発電所周辺展望広場と産状レプリカ展示場、元気村から発見現場周辺とを結ぶ遊歩道の完成。それらを記念して式典を開催する計画。
- ・化石試掘調査年2回の継続と、丹波竜化石発見9周年イベントの開催。
- ・新装調理室を使って、地域住民への給食デリバリーサービス実施。
- ・地区間の防犯灯をLEDに交換。

元気村かみくげ総会
開催される

企業組合元気村かみくげ (柳川頼義 輝代表理事) は5月23日、地域づくりセンターで平成27年度総会を開催しました。総会には組合員90名の内75名(委任状含む)が出席し、26年度の取り組みと決算状況の報告や、27年度の事業計画及び予算案について提案し可決されました。

◆26年度の決算報告 (抜粋)

- ・化石発掘体験事業に約4,600人が来場して、売上げ約120万円を計上
- ・恐竜焼きや飲食品販売で170万円、物品販売でトータル売上げ
- ・その他業務委託料収入などを含め総収入で564万円を計上
- ・人件費や業務委託費などの経費を差し引いて、4期連続の黒字決算

◆27年度の事業計画 (抜粋)

- ・恐竜広場完成により、食堂営業日を月・火曜日を除く毎日にする
- ・農産物処理加工施設での6次産業化の具体的展開
- ・化石発掘体験で発見者のデータベース化によるリピーター増
- ・発見現場案内ガイド養成講座の開設
- ・元気村かみくげ案内パンフレットの更新作成

上久下少年野球団が解散



1980年に上久下少年野球団が発足し34年余り、地域の方々の温かいご支援とご声援のもと活動してまいりましたが、2015年3月1日をもって解散致しました。少子化の流れでの部員数減少、各チームの合併に伴い勝利の喜びを中々得られなくなったこと、親の会でのサポート不足などの要因もあって在団生は山南町の小川、和田チームへ移籍致しました。上久下少年野球団としてOBの方々が大切に管理されてきた会計の残金を、親の会で相談の結果スポーツクラブ21上久下の会計へ納入し、上久下地域で活用して頂くことと99,224円を4月に寄付致しました。OBの皆様にはご了承頂きますようお願い致します。最後に丹波市20チームでのフットボール招待大会が盛大に開催できましたことをお礼申し上げます。ご声援ありがとうございました。

平成26年度

上久下少年野球団親の会 一同

広田つり橋が完成 記念式典開催される

旧の広田つり橋は、昨年4月に上久下小学校全児童と一緒に別れ会をしたあと撤去。架け替え工事が始まり、総工費約2億7千万円を掛けて1年後の今年5月末に新しい広田つり橋が完成しました。自治協議会と阿草部落が主催して6月6日に完成記念式典が開催され、辻市長を始めとして来賓の方々や地域の方100人以上が参加。テープカットや渡り初めの後に、記念品として阿草住民手作りの紅白餅が参加者に手渡されました。新しいつり橋は以前のような人数制限も無く、横揺れも少ない頑丈な構造になっていますが、橋の中間地点にメッシュ構造で河面が見える仕組みがあるため、以前とは違ったスリルが味わえると思います。式典の挨拶で、村上茂会長は「生活道路だけでなく観光名所としても期待している。この橋から見える豊かな自然を都会に発信して、地域の発展に繋げていきたい。」と感謝の意を表していました。



慧日寺 屋根ふき替え工事始まる

6月10日、太田の慧日寺では約15年ぶりに方丈（本堂）の茅葺き替え工事が始まりました。今回の葺き替えは四面のうち二面を計画しています。檀家を中心とした地域住民で毎日のローテーションを組んで、職人さんとの協働作業が8月一杯まで続きます。同時に、数百年の歲月屋根の重みを支えてきて傷んでいる構造体も一部取換えするなどかなり大規模な工事となります。今回の工事は年賀寄附金配分事業に採択されたこともあり、地域の伝統的町並み景観の維持に注力するNPO法人等と連携し、茅葺きの研修会なども同時に開催することで伝統技術の維持継承にも貢献していきたいと考えています。大変暑く梅雨の時節でもあり条件は良くないのでありますが、11月の紅葉シーズンに間に合わせるべく多くの人が毎日汗を流しています。今年の参拝者や観光客には、すばらしい紅葉とともに一段と美しく荘厳さを増した慧日寺を楽しんでいただけるものと楽しみにしています。古い茅を畑などに利用したい方は慧日寺まで連絡の上、引取りにお越し下さい。

（太田 K・N）



7月の予定

- ◆ 7月10日（金） 里づくり部会
午後7時30分から
- ◆ 7月12日（日） ふれあい映画会
午後7時30分から
- ◆ 7月19日（日） 地域づくりセンター周辺の剪定、草刈り
午前8時から
- ◆ 7月23日（木） 自治会長会
午後7時30分から
- ◆ 7月27日、28日（火） 恐竜時計台のカフェ
午前10時から
売切れまで
- ◆ 7月4日、11日、18日（土） 納涼ビアガーデン
午後6時30分から